

黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成26年5月発行

第127号

発行所

和歌山県看護協会

〒641-0036

和歌山市西浜1014-27

TEL:073-446-0605

FAX:073-446-0899

<http://www.wakayama-kangokyoikai.or.jp>

発行人

木村 佐多子



写真撮影：広報委員

CONTENTS

• 通常総会開催に向けて	2	その他委員会報告	14
• 平成26年度 通常総会プログラム		地区支部報告	14
理事会報告	3	平成26年度 和歌山県看護協会役員・	
平成26年度重点事業並びに事業計画	5	推薦委員選挙候補者一覧	18
平成26年度収支予算	7	平成27年度 代議員推薦者名簿	19
正味財産計算予算書内訳表	8	平成27年度 予備代議員推薦者名簿	19
職能委員会報告	9	• 寄附	19
常任委員会報告	11	• 訃報	20
特別委員会報告	13		

和歌山県看護協会 会員数

平成26年5月14日現在

会員総数	5,037名
名誉会員	1名
保健師	124名
助産師	182名
看護師	4,516名
准看護師	214名

平成 26 年度通常総会開催に向けて



公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 木村 佐多子

新年度となり、各職場では新人を迎え多忙な中にも活気ある日々をお過ごしのことと存じます。

平素よりの看護協会事業へのご支援とご協力に深く感謝申し上げます。

この度、初代県看護協会会長・松本寿子様（名誉会員）が本年3月13日、102歳でご逝去されました。昭和48年10月、社団法人発足以来、会長として14年間、本看護研修センター建設を始め、本協会事業への数々のご尽力に深く感謝申し上げますと共に衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、和歌山県看護協会は公益社団法人に移行して3年目を迎えます。平成25年度事業も、会員はじめ、役員、各地区支部、各委員会、行政他関連団体等のご支援・ご協力のもと無事終了致しました。平成26年度も「県民の健康な生活の実現」を目指して、看護の質向上、働き続けられる環境づくり、看護領域の開発展開を使命として、①看護実践能力及び専門性の強化②新看護研修センター建設の推進③働き続けられる環境づくりと確保定着の推進④県民の健康な生活の実現の推進⑤療養を支える訪問看護や介護領域における看護機能の強化⑥保健師活動の体制整備と機能強化⑦助産実践能力強化とその体制整備の7つの重点事業を掲げて活動を展開して参ります。

「看護職が働き続けられる環境づくり」に関しては、看護職のWLBワークショップ事業を今年も一施設が加わって継続的に取り組み、労働環境改善に繋げて参ります。また、潜在看護職の復職支援、技術講習会等、ナースセンターを看護職確保・定着の総合拠点として行政や労働局、ハローワークと連携しながら機能強化を図って参ります。

また、「看護の質向上」に於いては、ファーストレベル研修の定員増と共に、新人他施設合同研修、高機能シミュレーション研修、新人実地指導者研修、臨床実習指導者講

習会、訪問看護推進事業、中堅看護職員研修等に加えて、専任教員継続研修、認定看護師「救急看護」教育課程の27年度開講のための準備等、看護職が看護力を発揮できるように努めます。

新看護研修センター建設については、今年2月4日、土地建物の購入を終了致しました。建設資金に関しては、入会金、積立金、負担金と多くの皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。尚、県からは新館の建設補助金として2千万円を頂くことになりました。愈々これから設計の段階に入り、今後、業者選定、工事請負契約締結等を進め、今年度中の完成を目指します。進捗状況は黒潮等にて情報提供して参ります。完成の暁には、快適な環境のもと看護職がリフレッシュしながら学び、交流し、キャリアアップと共に、地域住民との交流の場ともなる事を強く願っています。

また、在宅医療推進に関しては、重点事業として今年度も看護師職能委員会Ⅱ、在宅看護推進委員会と連携して訪問看護推進事業に加えて8地区支部での「看護の出前事業」等、在宅看護の質向上・人材確保に向けて活動を展開します。

各職能の実践能力向上と体制整備に向けては、保健指導ミーティング事業、保健師活動指針の普及、助産師新人研修ガイド及び助産師クリニカルラダーの普及、夜勤交代制勤務ガイドラインの普及、継続教育基準 ver.2 とガイドの普及等各職能が力を発揮できる活動を進めます。

平成26年度も、各関係機関、行政、会員の皆様と共に安全で良質な看護の提供と看護職がいきいきと働き続けられる職場づくりを目指して、積極的に活動して参りますので、ご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

尚、この通常総会をもちまして、会長はじめ一部の役員が交代し新体制になります。これまでの会員の皆様の多大なるご支援ご協力に深く感謝申し上げますと共に、今後の和歌山県看護協会の発展を祈念申し上げます。

平成 26 年度 和歌山県看護協会

● 日程：平成 26 年 6 月 14 日（土）

12:20	開 場
12:50	オリエンテーション
13:00	開 会 物故会員への黙祷 会長挨拶 来賓祝辞 祝電披露 和歌山県看護協会会長表彰 (休 憩)
13:50	議長団選出 議事録署名人選出 平成 25 年度総会議事録朗読
14:00	報告事項 日本看護協会代議員報告 理事会報告 新看護研修センター建設について

通常総会プログラム

● 場 所：県民文化会館 小ホール

職能委員会報告
常任委員会・特別委員会報告
地区支部報告
平成 25 年度事業報告
平成 26 年度重点事業並びに事業計画
平成 26 年度収支予算
議決事項 (第一号議案～第二号議案)
選挙結果発表
新役員紹介
旧役員への謝辞
旧役員代表者挨拶
綱領宣言
看護協会歌唱
16:30 閉 会

* 進行上の都合により、時間が変更となる場合があります。

第一号議案 平成 26 年度役員及び推薦委員並びに
平成 27 年度公益社団法人日本看護協会代議員及び
予備代議員の選出について

第二号議案 平成 25 年度決算報告並びに監査報告（案）

報 告 事 項

理 事 会 報 告

I 理事会等開催状況

1. 理事会

回	開催日	時間	出席者	
			理事	監事
1	平成 25 年 4 月 12 日 (火)	13:00～14:45	17	2
2	平成 25 年 6 月 18 日 (金)	13:00～15:00	17	1
3	平成 25 年 7 月 1 日 (月)	13:00～14:50	18	2
4	平成 25 年 8 月 20 日 (火)	13:00～15:50	15	2
5	平成 25 年 10 月 4 日 (金)	13:00～16:00	18	1
6	平成 25 年 12 月 11 日 (水)	13:00～16:40	17	3
7	平成 26 年 1 月 15 日 (水)	13:00～15:15	17	3
8	平成 26 年 3 月 11 日 (火)	13:00～16:05	17	3

以上承認される

【報告事項】

- 看護協会事業への提案・要望事項について
- 理事役員の報酬及び委員会委員の旅費支給について
- 和歌山県行政及び関連団体会議参加 報告
- 会員数について
- その他（訪問看護推進協議会報告・ハヤヨミ 看護政策）

第 2 回理事会 平成 25 年 6 月 18 日 (金)

【協議事項】

- 平成 25 年度通常総会に向けての最終確認
 - 通常総会プログラム
 - 議決事項（案）
 - 第一号議案 H 25 年度役員及び推薦委員の選出（案）について
H 26 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出（案）について
 - 第二号議案 H24 年度決算報告（案）並びに監査報告
 - 第三号議案 新看護研修センター建設（案）について
 - 第四号議案 新看護研修センター建設準備積立金（案）について
- 平成 25 年度第 3 回理事会日程（案）について
- 施設会員代表者会議研修会（案）について
- 研修ニーズの調査（案）について
- 事務局人事（案）について
- 事業進捗状況（各担当理事より）
 - ナースセンター事業について
 - 日本看護協会学術集会について
 - 和歌山県看護研究学会について
- その他
 - 第 11 回佐川看護特別章候補者推薦 について
以上承認される

【報告事項】

- 日本看護協会理事会報告
- 和歌山県行政及び関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他（和歌山イコール会議について）

第 3 回理事会 平成 25 年 7 月 1 日 (月)

【協議事項】

- 新看護研修センター建設に関する今後の取り組み（案）について
 - 今後の計画について
 - 25,000 円の負担金について
- 細則変更（入会金）（案）について（継続審議）
- 各表彰候補者推薦について

2. 理事・各委員長・地区支部長合同開催状況

回	開催日	時間	出席者		
			理事	監事	委員長
1	平成 25 年 4 月 12 日 (火)	15:00～16:10	17	2	11
2	平成 25 年 7 月 1 日 (月)	15:00～16:00	18	2	11

3. 代議員研修会開催状況

回	開催日	出席者	
		代議員	予備代議員
1	平成 25 年 5 月 15 日	6	4

II 理事会開催

第 1 回理事会 平成 25 年 4 月 12 日 (火)

【協議事項】

- 平成 24 年度事業実施報告（案）
- 平成 25 年度日本看護協会代議員及び予備代議員選出（案）について
- 平成 25 年度和歌山県看護協会役員・委員選挙候補者（案）について
- 和歌山県看護協会会長表彰者（案）について
- 認定看護管理者教育運営委員会の再編（案）について
- 職能委員・常任委員会及び特別委員会等の委員（案）について
- 就業規則の改正（案）について
- 給与規定の改正（案）について
- 通常総会に関する事
 - 通常総会プログラム（案）について
 - 議長、記録、選挙管理委員、代議員報告等について
- 新看護研修センター建設への取り組み（案）について

- 1) 平成 25 年度春の叙勲及び褒章候補者推薦
- 2) 第 41 回（平成 24 年度）読売医療功労賞候補者推薦
- 3) 平成 25 年度和歌山県ナース章候補者の推薦
4. 次年度計画に関する要望・提案（案）について
5. 円滑な事業運営（常務理事会・理事会等の年間計画）（案）について
6. 平成 25 年度各地区支部活動（案）について
以上承認される（2.以外）

【総会での確認事項】

1. 平成 25 年度総会議案の決議事項確認及び事業推進について
 - 1) 議決事項
 - 第一号議案 平成 25 年度役員及び推薦委員の選出について
平成 26 年度公益社団法人日本看護協会
代議員及び予備代議員の選出
 - 第二号議案 平成 24 年度決算報告並びに監査報告
 - 第三号議案 新看護研修センター建設について
 - 第四号議案 定款細則の変更について
 - 2) 平成 25 年度重点事業及び事業計画及び予算計画について

【報告事項】

1. 各委員会について
 - 1) 各委員会委員について
 - 2) 理事の委員会等の担当等について
2. 理事等のメールアドレスについて
3. 平成 25 年度和歌山県病院協会学術大会について
4. その他（地域医療再生計画について）

第 4 回理事会 平成 25 年 8 月 20 日（火）

【協議事項】

1. ナースセンター事業について
看護職復職支援のための登録について
2. 新看護研修センター
トランスコスモス研修施設増改築について（継続審議）
3. その他
 - 1) 次年度のセカンドレベル研修 ファーストレベル研修
について
以上承認（2.以外）

【報告事項】

1. 日本看護協会関連会議
 - 1) 第三回理事会
 - 2) 各職能委員長会議
 - 3) 災害看護担当者会議
 - 4) 教育担当者会議
2. 和歌山県看護協会事業実施報告及び直近の事業予定
3. 県ナース章受賞候補者
4. 和歌山県行政及び関連団体会議参加報告
5. その他
 - 1) 医療功労賞候補推薦について
 - 2) ヘルシーソサイエティ賞候補推薦について
 - 3) 事務員派遣社員採用について

第 5 回理事会 平成 25 年 10 月 4 日（金）

【協議事項】

1. 新看護研修センター
トランスコスモス研修施設新築及び改築（案）について
以上承認される

【報告事項】

1. 日本看護協会関連会議
 - 1) 第四回理事会報告
 - 2) ナースセンター事業担当者会議
2. 事業実施報告及び直近の事業予定
 - 1) 各委員会担当理事より
 - ①各職能委員会
(保健師職能・助産師職能・看護師職能Ⅰ・Ⅱ)
 - ②その他各委員会
 3. 和歌山県行政及び関連団体会議参加報告
 4. その他（第 42 回医療功労賞 候補者推薦について）

第 6 回理事会 平成 25 年 12 月 11 日（水）

【協議事項】

1. 平成 27 年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出（案）
について
2. 平成 25 年度事業中間報告（案）と監査報告
3. 平成 26 年度の重点事業等（案）について
4. 平成 26 年度教育計画（項目）（案）について
5. 新看護研修センターに関すること（案）
以上承認される

【報告事項】

1. 日本看護協会第 5 回理事会報告
2. 日本看護協会関連会議報告
 - 1) 地区別職能委員長会議
 - 2) 拡大医療安全推進会議
 - 3) 日本看護学会連合会議
 - 4) 准看護師制度担当者役員会議
3. 会員数について
4. 県ナース章受賞者について
5. 事業進捗状況報告（委員会担当理事）
6. 和歌山県看護協会事業に対する提案要望事項について
7. 日本看護協会会長表彰・日本看護協会名誉会員推薦について
8. 平成 27 年度認定看護師教育課程開校について
9. 和歌山県行政及び関連団体会議参加報告
10. 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の医療救護体制について

第 7 回理事会 平成 26 年 1 月 15 日（水）

【協議事項】

1. 平成 26 年度 重点事業（案）について
2. 平成 26 年度事業計画（案）について
3. 平成 26 年度教育計画（案）について
4. 新看護研修センター建設推進（案）について
5. 新看護研修センター建設資金負担金（案）について
6. 常務理事会規約（案）について
7. その他
 - 1) 各委員会委員選出方法（案）について
 - 2) 叙勲の候補者（案）について
以上承認される

【報告事項】

1. 平成 26 年度日本看護協会代議員について
2. 第 2 回地区別施設会員代表者会議について
3. 会員数について
4. その他（ハヤヨミ情報）

第 8 回理事会 平成 26 年 3 月 11 日（火）

【協議事項】

1. 平成 26 年度資金収支予算書（案）について
2. 公益社団法人和歌山県看護協会定款細則改正（案）について
3. 公益社団法人和歌山県看護協会給与規定改正（案）について
4. 新看護研修センター建設（案）について
5. 平成 26 年度各委員諮問事項（案）について
6. その他
 - 1) 会費の納入（案）について
以上承認される
 - 2) 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会への寄付について
 - 3) 日本訪問看護財団設立 20 周年記念事業への寄付について

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告
(各職能委員長会議・広報担当役員会議)
3. 和歌山県行政及び関連団体会議参加
4. 会員数について
5. 事務局人事について
6. その他
 - 1) 和歌山県看護協会会長表彰候補者の推薦について
 - 2) 平成 26 年度社会貢献者表彰候補者の推薦について
 - 3) ハヤヨミ情報

平成 26 年度重点事業並びに事業計画

・二重下線は重点事業 ・下線は新規事業

重点事業

1. 看護実践能力及び専門性の強化
2. 新看護研修センター建設の推進
3. 働き続けられる環境づくりと確保定着の推進
4. 県民の健康な生活の実現の推進
5. 療養を支える訪問看護や介護領域における看護機能の強化
6. 保健師活動の体制整備と機能強化
7. 助産実践能力強化とその体制整備

事業計画

I. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

1. 継続教育に関する事業

- 1) 教育計画の企画・実施・評価 教育委員会 年 12 回

- (1) 新人教育 (県受託) 6 コース

(内 助産師新人教育 1 コース)

- (2) ジェネラリストを育成する教育 27 コース

(内 衛星通信 4 コース)

① 県受託事業

- ・訪問看護推進事業 2 コース (各 3 日間 定員 30 名)

- ・中堅看護職員実務研修 3 分野 (各 3 日間)

- (3) 管理者のための教育 6 コース

- (4) 教育者・研究者を育成する教育 (県受託事業) 3 コース

① 新人看護職員実地指導者研修

② 和歌山県保健師助産師看護師実習指導者講習会

③ 看護師等養成所専任教員の継続研修

- 2) 認定看護管理者教育

- (1) ファーストレベル教育課程 (150 時間 定員 50 名)

- (2) セカンドレベル教育課程 (180 時間 定員 30 名)

- (3) 認定看護管理者教育運営委員会 年 4 回

- 3) 認定看護師教育機関申請準備

(救急看護認定看護師教育課程)

- 4) 教育環境の充実

2. 看護研究の推進事業

- 1) 平成 26 年度和歌山県看護研究学会 開催

平成 27 年 2 月 7 日 (土) 於: 県民文化会館

テーマ 「輝く笑顔で寄り添う看護」

- 2) 図書整備・充実と活用支援

- (1) 図書・雑誌等の購入 及び図書利用の促進

- (2) 文献検索システム (日本看護協会) 利用方法のホームページへの掲載

II. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

1. 働き続けられる職場環境改善への支援事業

- 1) ナースセンター事業

- (1) 就業促進事業

- ① ナースバンク事業 ナースセンターだより (年 4 回)

- ② ナースセンター事業推進委員会

- ③ 就労環境改善事業

・多様な勤務形態導入研修 (WLB 推進ワークショップ) (2 日間)

・就労環境改善相談・指導者派遣事業 (アドバイザー派遣)

- (2) 離職防止対策事業

- ① 「ナース相談窓口」

- (3) 「看護の心」普及啓発

- ① 看護週間事業 (ふれあい看護体験・各地区支部での一日まちの保健室)

- ② 看護職への進路相談強化 (看護の出前講座)

- ③ 看護の日の記念行事 5 月 11 日 (日)

- (4) 看護職の健康管理

- ① 看護職のメンタルサポート

- ② 看護職の喫煙問題に関すること

- 2) 潜在看護職員復職支援研修事業

- ① 潜在看護職員復職支援研修

(座学・技術演習・病院実習) (5 日間)

- ② ナースのお仕事相談 (ハローワークとの連携)

1 回/月

- 3) 「雇用の質」向上の企画委員会への参画

- 4) 夜勤・交代制勤務のガイドラインの普及

- オンデマンド配信研修

- ① 労働者として知っておきたい労働基準法の基礎知識

7 月 2 日 (水)

- ② 看護職の夜勤・交替制勤務ガイドラインの「勤務

編成の基準」 7 月 23 日 (水)

- ③ 新人看護職員のための夜勤・交代制勤務を充実さ

せるセルフマネジメントスキル 7 月 30 日 (水)

2. 政策への参画

- 行政や県議会等への要望

III. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善に関する事業

1. 保健師職能委員会活動

- 1) 職能集会 平成 26 年 8 月 2 日 (土)

- 2) 保健師交流会

- 3) 保健師の人材育成

- (1) 「保健指導ミーティング事業」

(日本看護協会協働事業)

- 4) 組織強化への対策

- (1) 「保健師職能だより」発行 (年 3 回)

- 5) まちの保健室への協力

- 6) 保健師活動指針の普及・活用

2. 助産師職能委員会活動

- 1) 職能集会 平成 26 年 8 月 2 日 (土)

- 2) 助産師研修会開催

- ① 新人助産師研修 (3 日間・公開講座)

- 3) 助産師交流会 平成 26 年 11 月 29 日 (土)

クリニカルラダーに関する実施報告等

- 4) 思春期教育

- (1) 思春期教育出前教室の開催 3 回

- 5) まちの保健室への協力

3. 看護師職能 I・II 合同活動

- 1) 職能集会 平成 26 年 8 月 2 日 (土)

テーマ 「高齢者の end of life care」

講師: 桑田 美代子先生

(老人看護専門看護師) 青梅慶友病院

3 - 1. 看護師職能 I

- 1) 看護師の展望と継続教育

- (1) 研修会の開催

講演 「キャリア開発を支援する教育体制及び教育内容」

講演 「看護職の働き方や役割を再考する」

- 2) 働き続ける職場づくりへの推進

- (1) 研修会の開催

講演 「多様な勤務体制 (夜勤短縮) への取り組み」

講演 「看護職を取り巻く労働問題」

- (2) 夜勤・交替制勤務に関するガイドラインの普及

- 3) 准看護師研修会開催 平成 27 年 1 月 24 日 (土)

- 4) 男性看護職交流会への支援

- 5) 専門看護師・認定看護師交流会開催

3 - 2. 看護師職能Ⅱ

- 1) 訪問看護ステーション等出前事業（県補助金事業）
各地区支部で実施
テーマ「フィジカルアセスメント応用編」
- 2) 介護・福祉関係施設・訪問看護ステーション等の看護師に関わる出前研修
テーマ「安らかな看取りのために」（3回）
4. 三職能合同研修会
三職能合同研修会 平成26年8月2日（土）
講演・シンポジウム
テーマ「地域包括支援の実現に向けて」
在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス
代表 宇都宮 宏子 先生
5. 認定看護管理者活動への支援
(1) 看護管理上の課題の明確化と対策を検討
6. 医療安全に関する事業

- 1) 医療安全管理者研修（e-ラーニング活用）42時間
- 2) 医療施設の医療安全情報をHPに掲載
- 3) 医療安全に関する相談対応・情報提供
(1) 黒潮に掲載「医療安全数珠つなぎ」
(2) 看護職賠償責任保険の普及

IV. 地域ケアサービスの推進に関する事業

1. 県民の健康づくり
- 1) 「まちの保健室」事業
(1) まちの保健室 7回
(2) 高校生・短大生への健康チェック
(3) 毎日ウイークイン和歌山
- 2) 看護の心普及事業
(1) 看護週間事業（再掲）
①ふれあい看護体験事業
②看護の日記念事業（看護協会主催）5月11日（日）
③「一日まちの保健室」開催（8地区支部で実施）
- 3) 老人看護月間行事（8地区支部で実施）
(1) 「出前健康チェック」等
- 4) 訪問看護推進事業（県受託）
(1) 訪問看護推進協議会開催
(2) 医療機関に勤務する看護師の研修 3日間
7月8日（火）8月9日（土） 実習は日程未定
(3) 訪問看護間の相互研修（管理者等）3日間
9月16日（火）10月4日（土） 実習は日程未定
- 5) 和歌山県自殺対策緊急強化基金事業【県受託】
(1) 「命を支えるこころのケア」
平成27年3月1日（日）看護研修センター
心とからだの悩み相談（電話と来所）
- 6) 高齢者権利擁護等推進事業【県受託】
(1) 看護実務研修 2回（紀北・紀南）開催

V. 日本看護協会との協力及び連携に関する事業

1. 日本看護協会との連携
- 1) 日本看護協会主催の会議
(1) 通常総会・全国職能別交流会
6/10・11・12 於：愛知県
(2) 全国職能委員長会 8/1・H.27 3/6
(3) 理事会 5/9・6/11・7/24,25・9/19・
11/20,21・H.27 2/26,27
(4) 全国法人会員会
5/9・7/25・9/19・11/21・H.27 2/27
(5) 地区別法人会員会・職能委員長会 10/30,31
(6) 各担当者会議
・社会経済福祉担当者会議
・拡大医療安全推進会議
・教育担当者会議 8/6
・災害看護担当者会議 7/10

- ・ナースセンター担当者会議 9/10
- ・准看護師事業担当者会議 11/12
- ・訪問看護担当者会議
- ・広報担当者会議
- ・事務担当者会議
- ・会員名簿管理担当者会議 10/9

2. 日本看護協会重点事業への協力
- 1) DiNQL（労働と看護の質データベース事業）の推進
- 2) 看護職の役割拡大の推進
（特定行為に係る看護師研修制度の創設）

VI. その他本会目的達成のために必要な事業

1. 組織強化に関する事業
- 1) 会員数の増加・拡大
(1) 入会案内等のパンフレット作成
(2) ホームページの充実
(3) 病院協会 新人職員オリエンテーション
4月25日（金）
(4) 新入会員オリエンテーション（年2回）
平成26年6月30日（月）・7月7日（月）
(5) 各看護学校各行事への参加
- 2) 地区支部との連携及び支援
(1) 施設会員代表者会議 年2回
- 3) 会員サービスの充実
(1) ホームページ等での情報提供
(2) 会員からの問い合わせ・相談対応
(3) 会員の福利厚生（表彰・慶弔見舞・災害見舞等）
- 4) 新看護研修センター建設の推進
(1) 新看護研修センター建設推進委員会の開催
(2) 新看護研修センター建設の進捗状況の情報提供
①HP, 黒潮等の活用
(3) 建設工事の実施
①建築業者の入札と選定
2. 円滑な組織運営
- 1) 諸会議の開催
(1) 総会 平成26年6月14日（土）
場所：県民文化会館
(2) 理事会（年6回）
(3) 常務理事会
(4) 支部長会議
(5) 理事・各委員長合同会議（年2回）
(6) 代議員研修会 平成26年5月14日（水）
(7) 監査（年2回）
(8) 各委員会の開催
①各職能委員会
②各委員会
- 2) 広報
(1) 和歌山県看護協会会報「黒潮」発行（年4回）
(2) ホームページの充実及び閲覧の推進
3. 災害時の看護支援活動
- 1) 災害支援ナースの育成及び登録の推進
- 2) 県看護協会・地区支部のネットワークの強化及び合同防災訓練
- 3) 近畿地区看護協会災害支援ネットワークの構築
- 4) 災害看護活動に必要な物品の整備・購入
- 5) 災害支援ナースの身分の保障（障害保険の加入）
- 6) 日本看護協会との合同防災訓練への参加
- 7) 8地区支部との合同防災訓練
- 8) 市・県行政との連携
(1) 和歌山県防災会議に参加
(2) 和歌山県・市等への災害医療対策会議への参画
4. 関係団体共同事業参加
- 1) 関係機関の委員会および協議会等への参画
- 2) 後援・協賛依頼への協力

平成 26 年度 収支予算書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	20,000	20,000	0
特定資産受取利息	20,000	20,000	0
受取会費	55,000,000	54,000,000	1,000,000
受取会費	55,000,000	54,000,000	1,000,000
受取建設資金負担金	10,000,000	16,200,000	△ 6,200,000
受取建設資金負担金	10,000,000	16,200,000	△ 6,200,000
受取入会金	4,000,000	4,000,000	0
受取新入会金	4,000,000	4,000,000	0
事業収益	80,208,000	63,864,000	16,344,000
受取受講料	28,000,000	26,000,000	2,000,000
受取会館賃貸料	408,000	410,000	△ 2,000
受取福祉年金事務費	280,000	330,000	△ 50,000
受取手数料	600,000	950,000	△ 350,000
受取負担金	0	10,861,000	△ 10,861,000
受取補助金等	36,440,000	11,436,000	25,004,000
日本看護協会助成金	7,990,000	7,986,000	4,000
保健師指導ミーティング受取助成金	350,000	350,000	0
自殺対策事業受取補助金	1,000,000	1,000,000	0
地域医療再生事業受取補助金(シミュレーション)	0	2,000,000	△ 2,000,000
地域医療再生事業受取補助金(出前講座)	1,000,000	0	1,000,000
地域医療再生事業受取補助金(認定看護師)	26,000,000	0	26,000,000
団体受取助成金	100,000	100,000	0
受取受託金	14,480,000	13,877,000	603,000
日本看護協会受取業務委託金	649,000	642,000	7,000
県ナースセンター委託費	9,977,000	9,261,000	716,000
潜在看護職員復職支援事業委託費	1,481,000	1,481,000	0
専任教員継続研修委託事業	232,000	0	232,000
実習指導者研修会委託費	2,141,000	2,493,000	△ 352,000
受取寄付金	700,000	800,000	△ 100,000
受取寄付金	700,000	800,000	△ 100,000
雑収入	11,000	140,000	△ 129,000
受取利息	1,000	10,000	△ 9,000
その他雑収入	10,000	130,000	△ 120,000
経常収益計	149,939,000	139,024,000	10,915,000
(2) 経常費用			
事業費	114,952,000	97,571,000	17,381,000
役員報酬	6,550,000	9,000,000	△ 2,450,000
給料手当	38,830,000	14,960,000	23,870,000
賞与	6,770,000	0	6,770,000
臨時雇賃金	2,820,000	5,040,000	△ 2,220,000
退職給与引当費	902,000	0	902,000
法定福利費	3,800,000	3,551,000	249,000
福利厚生費	50,000	402,000	△ 352,000
報償費	150,000	0	150,000
会議費	500,000	300,000	200,000
広報啓発費	3,000,000	1,500,000	1,500,000
旅費交通費	11,500,000	14,188,000	△ 2,688,000
通信運搬費	2,300,000	4,580,000	△ 2,280,000
減価償却費	3,000,000	1,540,000	1,460,000
消耗什器備品費	1,200,000	0	1,200,000
消耗品費	1,000,000	4,320,000	△ 3,320,000
修繕費	200,000	0	200,000
印刷製本費	5,500,000	6,520,000	△ 1,020,000
図書整備費	200,000	500,000	△ 300,000
賃借料	7,000,000	4,170,000	2,830,000

科 目	当年度	前年度	増 減
調査研究費	10,000	100,000	△ 90,000
保険料	40,000	0	40,000
委託費	1,000,000	2,880,000	△ 1,880,000
諸謝金	15,000,000	24,000,000	△ 9,000,000
租税公課費	3,500,000	0	3,500,000
支払負担金	30,000	0	30,000
支払助成金	0	10,000	△ 10,000
支払寄付金	0	10,000	△ 10,000
雑支出費	100,000	0	100,000
管理費	31,617,000	40,379,000	△ 8,762,000
役員報酬	5,170,000	7,500,000	△ 2,330,000
給料手当	5,930,000	7,040,000	△ 1,110,000
賞与	3,450,000	0	3,450,000
臨時雇賃金	0	1,400,000	△ 1,400,000
退職給付引当費	387,000	552,000	△ 165,000
法定福利費	1,700,000	1,749,000	△ 49,000
福利厚生費	200,000	198,000	2,000
渉外費	200,000	500,000	△ 300,000
会議費	200,000	200,000	0
広告宣伝費	50,000	0	50,000
旅費交通費	1,000,000	300,000	700,000
通信運搬費	700,000	500,000	200,000
減価償却費	0	1,540,000	△ 1,540,000
消耗什器備品費	300,000	1,000,000	△ 700,000
消耗品費	1,500,000	3,000,000	△ 1,500,000
修繕費	400,000	2,000,000	△ 1,600,000
印刷製本費	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
光熱水費	3,000,000	1,800,000	1,200,000
賃借料	500,000	1,000,000	△ 500,000
会館委託料	2,000,000	2,200,000	△ 200,000
保険料	400,000	400,000	0
諸謝金	1,200,000	1,000,000	200,000
租税公課費	1,000,000	3,500,000	△ 2,500,000
諸会費	300,000	0	300,000
情報処理費	700,000	1,000,000	△ 300,000
支払負担金	30,000	0	30,000
支払手数料	150,000	0	150,000
雑費	150,000	500,000	△ 350,000
経常費用計	146,569,000	137,950,000	8,619,000
評価損益等調整前当期経常増減額			0
評価損益等計			0
当期経常増減額	3,370,000	1,074,000	2,296,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額			0
当期一般正味財産増減額	3,370,000	1,074,000	2,296,000
一般正味財産期首残高	504,328,466	504,328,466	0
一般正味財産期末残高	507,698,466	505,402,466	2,296,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	507,698,466	505,402,466	2,296,000

正味財産計算予算書内訳表

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計	科 目	公益目的 事業	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用益	0	0	20,000	0	20,000	調査研究費	10,000	0	0	0	10,000
特定資産受取利息	0	0	20,000	0	20,000	保 除 料	40,000	0	0	0	40,000
受取会費	0	0	55,000,000	0	55,000,000	委 託 費	1,000,000	0	0	0	1,000,000
受取会費	0	0	55,000,000	0	55,000,000	諸 謝 金	15,000,000	0	0	0	15,000,000
受取建設資金負担金	0	0	10,000,000	0	10,000,000	租 税 公 課 費	3,500,000	0	0	0	3,500,000
受取建設資金負担金	0	0	10,000,000	0	10,000,000	支 払 負 担 金	30,000	0	0	0	30,000
受取入金会金	0	0	4,000,000	0	4,000,000	支 払 助 成 金	0	0	0	0	0
受取入金会金	0	0	4,000,000	0	4,000,000	支 払 寄 付 金	0	0	0	0	0
事業収益	78,871,000	408,000	929,000	0	80,208,000	雑 支 出	100,000	0	0	0	100,000
受取受講料	28,000,000	0	0	0	28,000,000	管 理 費	0	0	31,617,000	0	31,617,000
受取会館賃貸料	0	408,000	0	0	408,000	役 員 報 酬	0	0	5,170,000	0	5,170,000
受取福祉年金事務費	0	0	280,000	0	280,000	給 料 手 当	0	0	5,930,000	0	5,930,000
受取手数料	600,000	0	0	0	600,000	賞 与	0	0	3,450,000	0	3,450,000
受取負担金	0	0	0	0	0	臨 時 雇 賃 金	0	0	0	0	0
受取補助金等	36,440,000	0	0	0	36,440,000	退 職 給 付 引 当 費	0	0	387,000	0	387,000
日本看護協会受取助成金	7,990,000	0	0	0	7,990,000	法 定 福 利 費	0	0	1,700,000	0	1,700,000
保健指導ミーティング受取助成金	350,000	0	0	0	350,000	福 利 厚 生 費	0	0	200,000	0	200,000
自殺対策事業受取助成金	1,000,000	0	0	0	1,000,000	渉 外 費	0	0	200,000	0	200,000
地域医療再生事業受取助成金(出前講座)	1,000,000	0	0	0	1,000,000	会 議 費	0	0	200,000	0	200,000
地域医療再生事業受取助成金(認定養成)	26,000,000	0	0	0	26,000,000	広 告 宣 伝 費	0	0	50,000	0	50,000
団体受取助成金	100,000	0	0	0	100,000	旅 費 交 通 費	0	0	1,000,000	0	1,000,000
受取受託金	13,831,000	0	649,000	0	14,480,000	通 信 運 搬 費	0	0	700,000	0	700,000
日本看護協会受取業務受託金	0	0	649,000	0	649,000	消 耗 什 器 備 品 費	0	0	300,000	0	300,000
県ナースセンター受取委託費	9,977,000	0	0	0	9,977,000	消 耗 品 費	0	0	1,500,000	0	1,500,000
潜在看護師候補等支援受託委託事業費	1,481,000	0	0	0	1,481,000	修 繕 費	0	0	400,000	0	400,000
専任教員継続研修事業費	232,000	0	0	0	232,000	印 刷 製 本 費	0	0	1,000,000	0	1,000,000
実習指導者研修会委託費	2,141,000	0	0	0	2,141,000	光 熱 水 料 費	0	0	3,000,000	0	3,000,000
受取寄付金	0	0	700,000	0	700,000	賃 借 料	0	0	500,000	0	500,000
寄付金収益	0	0	700,000	0	700,000	会 館 委 託 料	0	0	2,000,000	0	2,000,000
雑収益	0	0	11,000	0	11,000	保 険 料	0	0	400,000	0	400,000
受取利息	0	0	1,000	0	1,000	諸 謝 金	0	0	1,200,000	0	1,200,000
その他の雑収益	0	0	10,000	0	10,000	租 税 公 課	0	0	1,000,000	0	1,000,000
経常収益計	78,871,000	408,000	70,660,000	0	149,939,000	緒 会 費	0	0	300,000	0	300,000
(2) 経常費用						情 報 処 理 費	0	0	700,000	0	700,000
事業費	114,952,000	0	0	0	114,952,000	支 払 負 担 金	0	0	30,000	0	30,000
役員報酬	6,550,000	0	0	0	6,550,000	支 払 手 数 料	0	0	150,000	0	150,000
給料手当	38,830,000	0	0	0	38,830,000	雑 費	0	0	150,000	0	150,000
賞与	6,770,000	0	0	0	6,770,000	経常費用計	114,952,000	0	31,617,000	0	146,569,000
臨時雇賃金	2,820,000	0	0	0	2,820,000	評価損益等調整前当期経常増減額	△36,081,000	408,000	39,043,000	0	3,370,000
退職給付引当費	902,000	0	0	0	902,000	評 価 損 益 等 計					
法定福利費	3,800,000	0	0	0	3,800,000	当期経常増減額	△36,081,000	408,000	39,043,000	0	3,370,000
福利厚生費	50,000	0	0	0	50,000	2. 経常外増減の部					
報償費	150,000	0	0	0	150,000	(1) 経常外収益					
会議費	500,000	0	0	0	500,000	経常外収益計	0	0	0	0	0
広報啓発費	3,000,000	0	0	0	3,000,000	(2) 経常外費用					
旅費交通費	11,500,000	0	0	0	11,500,000	経常外費用計	0	0	0	0	0
通信運搬費	2,300,000	0	0	0	2,300,000	当期経常外増減額	0	0	0	0	0
減価償却費	3,000,000	0	0	0	3,000,000	他会計振替額	344,000	△344,000	0	0	0
消耗什器備品費	1,200,000	0	0	0	1,200,000	当期一般正味財産増減額	△35,737,000	64,000	39,043,000	0	3,370,000
消耗品費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	一般正味財産期首残高	454,699,416	656,032	48,973,018	0	504,328,466
修繕費	200,000	0	0	0	200,000	一般正味財産期末残高	418,962,416	720,032	88,016,018	0	507,698,466
印刷製本費	5,500,000	0	0	0	5,500,000	II指定正味財産増減の部					
図書整備費	200,000	0	0	0	200,000	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
賃借料	7,000,000	0	0	0	7,000,000	指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
						指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
						III正味財産期末残高	418,962,416	720,032	88,016,018	0	507,698,466

職能委員会報告

保健師職能委員会

委員長 櫻根 桂子

【活動目標】

保健師の連携強化・ネットワークの構築を図り、いきいきと元気に活動する。

【活動内容】

- 職能委員会開催回数：10回開催
- 職能集会：平成25年9月28日（土）開催
 - ・場所：プラザホープ
 - ・参加者数：59名
 - ・講演：テーマ「地域が動く保健師活動
ー保健師活動指針の改定をふまえてー」
 - ・講師：日本看護協会 常任理事 中板育美
 - ・報告：「平成25年度日本看護協会および県看護協会職能委員会活動方針について」
保健師職能委員長 櫻根 桂子
- 三職能合同研修会：平成25年9月7日（土）開催
 - ・場所：プラザホープ
 - ・参加者数：131名
 - ・講演：テーマ「地域で支える、つなぐ看護
～どう、生きたいかに寄り添う～」
 - ・講師：在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス 代表 宇都宮 宏子氏
- ・事例発表
保健師の立場から 田辺地域包括支援センター 井田 範子氏
助産師の立場から 国保日高病院 甲斐 薫氏
看護師職能Ⅰ 社会保険紀南病院 地域連携室 竹中 裕子氏
看護師職能Ⅱ 訪問看護ステーションわかやま 津田 智巴氏
- ・グループワーク テーマ「医療と暮らしをつなぐ看護職の連携」
- 日本看護協会と協働（平成25年度保健指導ミーティング事業）：
平成25年12月8日（日）開催
 - ・場所：和歌山看護研修センター
 - ・参加者数：48名
 - ・講演：テーマ「母子保健活動における保健指導
ー新任保健師・指導保健師の役割を考えるー」
演題「母子保健活動：子ども虐待予防における保健師の支援方策」
・講師：大阪府立大学看護学部 教授 上野 昌江氏

・実践事例発表

「母子保健活動を通して～採用から現在までの振り返り～」
新宮保健所 岩見 真佐美氏（新任保健師）
村上 由香氏（指導保健師）

「上富田町の母子保健事業を通して」

上富田町役場 玉置 倫子氏（新任保健師）
木村 陽子氏（指導保健師）

・グループ討議

コーディネーター：和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 山田 和子氏

○交流会「地区担当制でいきいきと

～PHNカフェで語り合おう～」：

平成26年3月2日（日）開催

・場所：和歌山看護研修センター

・参加者数：25名

・講演：「地区担当制における紀美野町の保健師活動」

・講師：紀美野町保健福祉課 主幹 湯上 ひとみ氏

・交流会：「みんなで語ろう 楽しい保健師活動を」

○三職能委員長情報交換（随時）

三職能合同研修会や職能間の連携について協議した。特に三職能合同研修会の今後の開催について協議した。

○地域住民の健康増進

「まちの保健室」への協力

○会員増加に関する対策

①保健師職能だよりの発行：8号、9号、10号

②和歌山看護協会ホームページへの掲載

③職能委員会報告を行い、委員会活動、協会活動を紹介する（職能委員より管内全市町村に）。

【今後の課題】

- ①保健師職能だより等を利用して、協会活動を多くの保健師に伝え、加入率の増加を図る。
- ②産業保健師との交流を図る。
- ③平成27年度中堅期コンサルテーション事業の開催に向けて、関係機関との連携を図る。
- ④新任者を対象とした保健師教育の充実を図るため、保健指導ミーティング事業を開催する。

助産師職能委員会

委員長 宮本 靖代

【活動目標】

助産師の積極的な活用による安全で安心な妊娠・出産・育児環境の整備

①助産実践能力向上のために、キャリアアップ研修を開催する

②周産期における災害マニュアルの作成を行う

③助産師職能として思春期出前事業を行い、地域に根ざした活動を行う

【活動内容】

委員会開催 8回

1. 助産師職能集会の開催

日時：9月7日（土）10:00～12:00

場所：プラザホープ

参加者：39名 職能委員7名（合計46名）

内容：①報告

平成24年度活動報告

「助産師のキャリアパス」モデルを作成し、職能委員より発表

②講演

テーマ：「周産期の現場から見た子育て支援と課題」

講師：大阪府立母子保健総合医療センター
新生児科主任部長 北島博之 先生

2. 三職能合同研修会の開催

日時：9月7日（土）13:00～16:00

場所：プラザホープ

参加者：三職能で131名

テーマ：その人らしく生活するための連携～三職能の役割と課題～

内容：①事例発表

・保健師の立場より

田辺地域包括支援センター 保健師 井田 範子氏

・助産師の立場より

国保日高総合病院 助産師 甲斐 薫氏

・看護師職能Ⅰ

社会保険紀南病院 看護師 竹中 裕子氏

・看護師職能Ⅱ

訪問看護ステーションわかやま 看護師 津田 智巴氏

②話題提供

「地域で支える、つなぐ看護～どう生きたいかに寄り添う～」
在宅ケア移行支援研究所 代表 宇都宮宏子 先生

③グループワーク

3. 助産師研修会の開催

日時：7月27日（土）13:30～15:30

場所：和歌山看護研修センター

講演：「周産期におけるメンタルケアについて」

講師：和歌山県立医科大学附属病院 神経精神医科学

助教 山本 真弘 先生

参加者：36名 職能委員 7名（合計43名）

4. 新人助産師研修会の開催

目的：新人助産師が基本的な臨床実践能力を獲得するための研修を実施し、助産の質の向上を図る

日時：第1回 8月17日（土）

第2回 9月28日（土）

第3回 10月19日（土）

場所：和歌山看護研修センター

対象：卒後5年目までの助産師

参加者：18名（8施設）

5. 近畿地区合同研修会の開催

日時：10月27日（土）

場所：兵庫看護協会 ハーモニーホール

参加者：175名（近畿2府4県）

和歌山県よりの参加は9名（委員含め）

テーマ：「助産実践能力強化に向けて・ALL JAPAN 助産師の
クリニカルラダー」

講演内容と講師

「助産実践能力習熟段階がなぜ必要か！作成の経緯」

日本看護協会 常任理事 福井 トシ子 氏

「教育プログラムと評価基準・ポートフォリオの活用」

杏林大学医学部附属病院 看護副部長 砥石 和子 氏

「レベルⅢ申請と認証システムについて」

社会医療法人愛仁会高槻病院 看護師長 村田 佐登美 氏

6. 思春期教育
日時：12月12日(木)午後
和歌山県立向陽中学校に行き、思春期教育
「命の誕生」をテーマに講演
参加者：80名(3年生)5名(教師)
7. 町の保健室への協力
今年度は4回の協力
8. セーフ・マザーフード募金の協力
今年度は5,030円の募金の協力を頂いた。次年度にまとめて
ICMに送金の予定。

【今後の課題】
・助産師のクリニカルリーダーの啓発と普及について、施設間や助産師間での連絡や連携を取り推進

看護師職能委員会 I

委員長 東 直子

【活動目標】

1. 看護職の活躍する場が拡大していくに伴い、更なる看護の質向上を目指す。
2. 看護職がいきいきと働ける環境作りを推進する。
3. 三職能の連携を強化する
4. 看護協会の組織を強化するためにPRを図る。

【活動内容】

職能委員会年9回実施

- 1-1) 看護師職能集会開催 2013年9月7日(土) 10:00～12:00
参加者 180名
テーマ：「認知症ライフサポートへの取り組み」
事例発表 県立医科大学附属病院紀北分院 医療支援室 谷川 聖子
県立こころの医療センター 看護師長 北垣 郁子
恵友サザンホーム 看護部係長 山下 陽子
訪問看護ステーションフロムはーと 管理者 高塚美登里
講演 テーマ：「認知症キャラバンメイトの取り組み」
講師：海南キャラバンメイト
海南市役所 高齢介護課 保健師 谷山美有紀
- 1-2) 准看護師研修会の開催 2014年1月18日(土) 13:30～16:00
参加者 87名
目的：看護の責任と専門性を発揮するための知識と技術を修得し、看護実践につなげる
講演：「看護の動向について」
和歌山県看護協会 会長 木村佐多子
「見直しましょう!! 感染対策」
社会保険紀南病院 感染管理認定看護師 中本 千秋
- 1-3) 専門・認定看護師交流会の実施
2014年2月15日(土) 13:00～16:00 参加者 26名
目的：看護職の役割拡大の推進
専門・認定看護師の役割を認識し、看護の質の向上を図る
講演：「特定看護師(仮称)の活動と課題」
講師：南和歌山医療センター 診療看護師 横山淳美
シンポジウム：「専門・認定看護師としての役割を發揮する」
座長：社会保険紀南病院 がん化学療法看護認定看護師 岡地 美代
①認定看護師の立場から
和歌山ろうさい病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 橋本真由美

②専門看護師の立場から

和歌山医科大学保健看護学部 精神看護専門看護師 武用 百子

③認定看護管理者の立場から

日本赤十字社和歌山医療センター 救急看護認定看護師、
認定看護管理者 芝田 里花

- 1-4) 男性看護師交流会 2014年3月1日(土) 13:00～16:00
参加者 38名
目的：「男性看護師の交流を図り、情報を共有しキャリアアップに努める」
講演：「男性看護師の未来(あす)」
講師：岸和田市民病院 副看護局長 林 真樹
グループワーク テーマ：男性看護師の現状
- 2-1.2) 看護協会から発行「黒潮」に「夜勤交代制勤務のガイドライン」の活用方法について4回掲載し、普及を図った。
- 3-1) 三職能合同研修会の実施 2013年9月7日(土) 13:00～16:00
参加者 131名
テーマ：「その人らしく生活するための連携～三職能の役割と課題～」
事例発表 保健師の立場より
田辺市地域包括支援センター 保健師 井田 範子
助産師の立場より
国保日高総合病院 助産師 甲斐 薫
看護師職能 I
社会保険紀南病院 地域連携室 看護師 竹中 裕子
看護師職能 II
訪問看護ステーションわかやま 看護師 津田 智巳
グループワーク テーマ：「医療と暮らしをつなぐ看護職の連携」
コーディネータ 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス
京都府看護協会常任理事 宇都宮宏子
- 4-1.2) 看護師職能 II と連携を図り、協会の組織強化に努めた。
看護師職能 I・II 合同会議を4回実施し、情報共有を行った。

【今後の課題】

- ①看護職の役割拡大と推進を行うとともに、看護の質の向上と専門性を活かすための支援を行う。
- ②健康で安全に働き続ける職場づくりを目指し、夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの活用状況の実態調査を行い、課題を見出す。

看護師職能委員会 II

委員長 澤 越 純子

【活動目標】

1. 介護・福祉施設・在宅領域のネットワークづくり
2. 介護施設・在宅領域における看護の機能強化
3. 看護協会活動のPRを行い、施設・在宅関連の協会の増員を図り看護職能の組織強化を図る
4. 三職能の連携の強化

【活動内容】

- 1・1) 委員会開催 8回
- 1・2) ①出前研修：5回実施
・特別養護老人ホーム「虹」で2回 参加者 34名
テーマ：感染対策
・特別養護老人ホーム「白寿苑」 参加者 29名
テーマ：安らかな看取りのために～施設や在宅でのかかわり～
・御坊保健所 参加者 39名
テーマ：安らかな看取りのために～施設や在宅でのかかわり～
・かつらぎ総合文化会館 参加者 11名
テーマ：在宅看護に関わる看護職員の皮膚・排せけについて
②平成25年度「地区別高齢者ケア施設の看護管理者交流会」への参加
参加者：7名
場所：大阪市 グランフロント大阪

③研修会：□から食べる喜びと利用者さんの笑顔を取り戻そう

参加者 57名

講師 東名厚木病院 摂食・嚥下療法部課長

小山 珠美 先生

- 3) ①県下の訪問看護ステーションに「フィジカルアセスメント」の本を配布
②県下の介護福祉施設に「介護福祉施設の看護実践ガイド」の本を配布
③出前研修で入会案内パンフ、後日配布参加者で非会員の方に申請書配布
- 4) 三職能合同研修会
9月7日(土) 参加者 131名
テーマ：その人らしく生活するための連携～三職能の役割と課題～
看護師職能集会
9月7日(土) 参加者 180名
テーマ：認知症ライフサポートへの取り組み

【今後の課題】

- 1) 介護・福祉施設・在宅領域では、会員が少ないや、小規模事業所のため研修参加が困難であるなどの問題を抱えている。看護師職能委員会 II では、これらの看護職が研修へ参加しやすい条件を整え、研修の機会を設けていく必要がある。
- 2) 医療は、病院完結型から地域完結型医療にシフトしていく中、三職能の連携を更にスムーズに促進・強化される必要がある。

常任委員会報告

社会経済福祉委員会

委員長 山下 みよ子

【活動目標】

1. 看護職がいきいきと働き続けられる職場作りに向けて、「WLB 推進ワークショップ」の取り組みを支援する。
2. 看護職への禁煙推進活動

【活動内容】

・回数：委員会開催回数 9回

1. 今年度は、WLBを重点的に取り組み、年2回開催の「WLB 推進ワークショップ」の事業運営についてWLB推進委員会をサポートした。

4月	・WLB 推進委員会へ参加 参加施設は平成23年度から引き続き紀和病院・恵友病院・国保日高総合病院・白浜はまゆう病院の4施設、平成24年度から引き続き橋本市民病院、海南医療センターの2施設計6施設
5月	・平成25年度委員会年間計画の立案 ・世界禁煙デーフォーラム2013参加報告 ・施設における看護師向け禁煙対策の紹介依頼文書を作成 ・第1回WLB合同会議へ参加 WLB参加施設と担当委員、WLB推進委員、支援者との打ち合わせ 支援者よりインデックス調査についての説明
6月	・WLBワークショップに向けての準備 ・黒潮への掲載文を作成 ・黒潮掲載原稿を施設へ依頼
7月	・WLB 推進ワークショップ（9月17・18日に開催）に向けての準備と最終確認。役割分担 ・禁煙アドバイザー育成講習会参加報告

9月	・9/13 第2回WLB合同会議へ参加 ・9/17.18 第1回WLB推進ワークショップ開催 ① WLBの基本的な考え方について ② 看護職のWLBインデックス調査及び調査結果の見方について ③ WLB実現のためのアクションプランについて 各施設に分かれ、インデックス調査結果の分析から問題、課題を明確にしアクションプランを作成。それに基づいて全体討議。 ・第125号黒潮掲載原稿確認
12月	・WLBフォローアップワークショップの役割分担 ・第3回WLB合同会議へ参加 フォローアップワークショップ（平成26年1月29日開催）プログラムについての打ち合わせ
1月	・第2回WLBフォローアップワークショップ開催 各施設での取り組みの報告・討議・意見交換
2月	・平成25年度事業活動のまとめ ・平成26年度事業活動計画（案）の作成 ・第2回WLB推進委員会に参加

2. 看護職の禁煙推進活動

- 1) 和歌山県看護協会会報「黒潮」へ禁煙推進記事を下記の内容で掲載した。
 - ①第123号へ「施設禁煙に向けて」
(和歌山県立医科大学付属病院紀北病院 山下みよ子)
 - ②第124号へ「世界禁煙デーフォーラム2013in和歌山参加報告」
 - ③第125号へ「禁煙外来の紹介」
(海南医療センター 内科外来 千畑 仁美)

【今後の課題】

1. 看護職の職場定着に向けて、WLB推進ワークショップへの取り組みの継続
2. 看護職への禁煙推進活動の継続

教育委員会

委員長 森田 和也

【活動目標】

『看護専門職としての知識・技術を深め、看護実践能力の向上に必要な教育の企画・運営を行うことができる』を目標に、県内看護職の継続教育を企画・運営し、地域住民の皆様に貢献できる看護職育成の一助となるよう努めた。

【活動内容】

- ・教育委員会開催回数 12回
- ・研修の企画・運営・評価を行った。教育計画については、1月中にはほぼ完成した。
- ・研修は26テーマ（34日）行った。
- ・H23年度から開催している新人対象の技術研修では教育委員が指導者となり、新人に対して実践指導を行うと共に今後も活用できるようにマニュアルの評価・修正を行った。
- ・三職能に精通した一般的な研修を担当した。

・会員がほぼ和歌山市内に集中していることから、和歌山市内での研修中心となるが、受講者の要望に応え、紀南地域でも6回の研修を開催した。

【今後の課題】

- ・研修を担当する中では、受講態度も問題としてとらえ、受講のきっかけ・動機を支援することの必要性も検討した。今後とも受講者が自ら受講したいと思えるような魅力ある研修企画・運営を行うことが必要である。
- ・研修地区については、和歌山市内を中心に、紀南地区、紀北地区などの検討も継続して行う。
- ・職能やリスクなど、教育委員会だけでは担当できない部門研修に関しても充実していく必要があるため、委員会間の連携の強化が必要である。

広報委員会

委員長 梅本 依子

【活動目標】

1. 和歌山県看護協会の動向、タイムリーな情報、最新情報の提供
2. 読者参加型の紙面作り

【活動内容】

回数：9回

1. 和歌山県看護協会会報「黒潮」の発行4回（第123号～第126号）
2. 和歌山県看護協会の動き、各職能委員のコーナー、知って得する看護協会だより等を継続した
3. 「私の○○」「リレーエッセイ友達の輪」「医療安全数珠つなぎ」「My hospital」などのコーナーを継続
4. 第125号より「訪問看護ステーションだより」を新コーナーとして設けた

5. 昨年に引き続き、広報誌への関心を深めて頂くために、表紙の写真にも力を入れ、また、プレゼント応募はがきと読者の声を掲載した

【今後の課題】

1. 本誌へのご意見・ご要望を参考に取り入れる
2. 会員の皆様により参加でき、タイムリーな情報で興味を持って頂けるような紙面についての検討
3. 本誌への感想等をもっと提供してもらえる方法の検討
4. 他の委員会と更に連携を密にし、より良い機関誌作りに努めていく

医療安全対策委員会

委員長 澤田 康幸

【活動目標】

1. 医療安全管理者養成研修会を企画、開催し、円滑な運営を実施する。
2. 県内医療安全管理者養成研修会修了者交流会およびフォローアップ研修を企画、開催し、県内医療安全管理者のネットワークの構築を推進する。
3. 研修会、交流会の企画・運営の評価を行ない、次年度の計画に活かす。

【活動内容】

1. 委員会開催回数 10回 (13:30～17:00)
 - 1) 検討内容
医療安全管理者養成研修会、県内医療安全管理者養成研修会修了者交流会およびフォローアップ研修の企画、運営、および研修後の評価について検討をおこなった。
2. 医療安全管理者養成研修会 (全7回修了した方に修了証を発行)
医療現場における安全管理を効果的に行い、医療の質を保證することができる医療安全管理者を養成するねらいで6時間×7日

間の研修会を開催した。終了者は53名であった。研修後のアンケート結果からは、どの研修日も目標はほぼ達成できたという回答を得た。

3. 県内医療安全管理者養成研修会修了者交流会およびフォローアップ研修
フォローアップ研修は、「インシデントの事故事例の分析」「医療安全は仕組み・仕組み・仕組み」の2つのテーマで開催した。交流会は、「医療安全推進のための標準テキストをどのように活かすか」をテーマにグループワークを行った。

【今後の課題】

1. 研修や交流会を紀北と紀南で開催できないか、もしくは、地区支部単位で医療安全研修ができないかという意見が多く、今後の検討課題である。
2. 看護協会 HP の医療安全ページの充実を図る。医療安全管理者の相互支援が可能になるようなネットワークの構築が課題である。

災害看護対策委員会

委員長 石野 有香

【活動目標】

1. 災害支援ナースの登録ネットワークシステムの構築
・災害支援ナースマニュアルの整備
・災害支援ナース登録の推進
2. 災害支援ナースの育成
・災害看護研修の企画、実施
・災害看護フォローアップ研修会の企画、実施

【活動内容】

1. 委員会開催 12回 (毎月・第3金曜日)
(4/19 5/17 6/21 7/19 8/16 9/20 10/18 11/15 12/20 1/17 2/21 3/14)
・災害支援ナースマニュアル作成
・災害支援ナース登録証の発行について
・災害支援ナース派遣時の必要物品 (看護協会での準備物品等) について検討
・研修会の企画
2. その他
・8/8 8/9
平成25年度 都道府県看護協会災害看護担当者会議
(日本看護協会に於いて)
(1日目 全国会議 2日目 ブロック会議)
黒田専務理事と委員の石野が出席

- ・8/28 8/29 8/30
平成25年度 日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣 調整合同訓練
- ・2/21
和歌山県内8地区支部災害支援訓練
「和歌山県看護協会災害時支援体制要綱」の「和歌山県看護協会における災害時対応の流れと役割」に沿って実践した
想定：和歌山県内で災害 (大雨) が発生した
一般電話が通じず、被災状況がわからない
被災地から報告がないため、看護協会から発信する
内容：衛星電話を使用し、各地区支部の被災状況を把握する
(被災状況や災害支援ナースの派遣要請の有無等を確認)

- ・7/12 7/13
災害看護研修Ⅰ
衛星通信研修：災害医療と看護 (基礎編) 修了者数 50名
- ・12/16 12/17
災害看護研修Ⅱ
災害支援ナース育成研修 修了者数 34名
- ・2/21
災害看護フォローアップ研修会 参加者数 40名
受講者に衛星電話の使用方法について説明を行った

【今後の課題】

- ・災害支援ナース登録管理等について

看護研究学会委員会

委員長 廣瀬 朱実

【活動目標】

看護研究学会の円滑な運営に向けての準備、調整を行うことができる。

【活動内容】

回数 委員会12回 看護研究学会 2月8日 (土)

1. 審議事項
 - 1) 看護研究学会のテーマの検討
 - 2) 特別講演の講師の選定、講演依頼内容の検討
 - 3) シンポジウムのテーマおよびシンポジストの検討
 - 4) 演題募集要項、抄録原稿要項の検討
 - 5) 査読者決定および査読判定基準の検討、査読結果送付
 - 6) プログラムの検討および作成
 - 7) 抄録集の検討および作成、印刷依頼
 - 8) 運営のしおり検討および作成
 - 9) 年間予定表の検討
 - 10) 広報活動の検討 (ポスター含む)
2. 活動内容
 - 1) 学会のテーマは、「輝く笑顔でよりそう看護～未来につながる臨床の知恵～」とした。
 - 2) 特別講演は、臨床の看護職の方々がかもつ看護研究に取り組んでほしいと考え、講師は任 和子先生 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻臨床看護学講座教授) をお願いし、テーマは「臨床現場で看護研究に取り組む意味を考えよう」に決定した。

- 3) シンポジウムのテーマは、「見出し、活かそう・看護研究」とし、座長を高岸壽美先生 (和歌山赤十字看護専門学校) をお願いした。シンポジストにはそれぞれの立場から看護研究を推進し、取り組む看護職員を支援することを念頭に、現在の問題点と今後の展望を含めて依頼した。看護部長の立場として澤越純子先生 (黎明会北出病院)、認定看護師の立場として宮田栄里子先生 (社会保険紀南病院・摂食嚥下障害看護認定看護師)、大学院で看護研究を学び施設で指導する立場として古川佳子先生 (和歌山県立医科大学附属病院紀北分院)、大学教員で病院に看護研究の指導に携わっている立場として水田真由美先生 (和歌山県立医科大学保健看護学部) の4名にシンポジストをお願いした。
- 4) 発表演題数は37題、参加人数は314人であった。

【今後の課題】

日本看護学会一成人看護Ⅰの学会が10月に行われ、多くの演題発表があったためか、演題が思うように集まらず、各施設に演題発表を再度お願いし、漸く37題の演題が集まり発表することができた。発表者はスライドやポスターなどの作成や発表が年々上達しているように感じたが、特に口演発表では会場からの質問がほとんどなく、座長から質問する場面が多かった。今後は活発な意見交換ができるように検討する必要がある。

アンケート結果から、特別講演やシンポジウムについて好評いただいたので、来年度以降も学会参加者が興味を持って参加できるように学会の企画・運営の詳細を決定していきたい。

特別委員会報告

「まちの保健室」運営委員会

委員長 中村 優子

【活動目標】

1. 「まちの保健室」開催の定着化をはかり、地域住民の健康に対する認識を高める。
2. 参加者の生活習慣改善のきっかけづくりや、改善に向けての支援ができる。
3. 「まちの保健室」活動を通して地域のネットワークを強化していく。
4. 看護協会活動の広報に努め、地域住民の看護への関心と理解を高める。

【活動内容】

回数：13回

(運営委員会開催6回、「まちの保健室」健康チェック開催7回)

内容：今年度、予定の「まちの保健室」開催に加え、向陽高校・信愛女子短期大学の2校で健康チェック事業を開催。地域住民の参加者総数は810名で昨年度に比し200名増加。リピーター率は8.5%と少し低下。参加者年齢層は昨年と同じ50歳以上が半数以上を占め、うち60歳代は46%だった。向陽高校での開催では、昨年同様に看護の仕事コーナーを設け、白衣体験も企画した。健康チェックでは57名の高校生

の参加があり、アンケートからは健康への関心が窺えた。また、信愛短期大学では学生70名が参加し、健康への関心を高めるきっかけづくりとなった。相談コーナーの受付数は平均47%で、各担当者はポスターや資料の準備等で効果的な指導がなされた。参加者アンケートの回収率は90.4%で、寄せられた意見・要望は委員会議で検討した。看護協会活動の認知度は23%で昨年と変わらず。今年度の課題であった活動広報として、県看護協会名と「健康チェックをしませんか」のロゴ入りポケットティッシュを、3月から参加者に配布している。

【今後の課題】

1. 保健所等との共催で、学校や各団体等での健康チェック事業を充実していけるようネットワークを強化していく。また協力員体制も検討したい。
2. 参加者の要望にある抹消血流測定を項目として可能か検討する。(予算・人員)
3. 引き続き看護協会活動の広報を行い(公社)看護協会の理解と認識を高めていく。

在宅看護推進委員会

委員長 鬼塚 幸幼

【活動目標】

1. 在宅看護に関わる看護師の質向上と看一看護連携の強化
訪問看護師の質向上と病院看護師の在宅看護に関する知識向上
看護協会非会員に対してのアプローチ
2. 訪問看護推進協議会開催の準備

【活動内容】(研修等 具体的に)

1. 委員会開催回数 9回(H25.4月～H26.3月)
2. 在宅看護に関わる看護師の質向上と看一看護連携の強化
 - 1) 退院支援に関する研修の実施
テーマ「小児の在宅医療を考える」
開催日：平成25年11月16日土曜日
参加人数：35名

目的：訪問看護師と退院調整部門看護師との連携の強化

小児の在宅医療をともに考える機会を持つ

効果：小児の在宅医療について具体的なイメージができた。

小児のBLSについて実際に演習できてよかった。

3. 平成25年度訪問看護推進協議会開催の準備
 - 1) 訪問看護推進事業協議会の企画・準備
・訪問看護に関する課題及び対策の検討
 - 2) 訪問看護推進事業協議会の実施
開催日：平成26年3月6日木曜日
4. 今後の課題
次年度も引き続き、看一看護連携強化のために各部門、各部署に広く声掛けをしていく。顔の見える関係づくりを進めたい。

看護研修センター建設推進委員会

委員長 塩路 有理

【活動目標】

新看護研修センターの基本方針踏まえ、将来の展望を見据えた看護研修センター建設を推進する

【活動内容】

委員会開催回数：11回

平成25年6月22日の通常総会で、「トランスコスモス」を新看護研修センターとして購入することを決定し、建設に向けて会議を重ねてきた。

当初、増築で計画を進めていたが、新看護研修センターとしての

機能を考え、200人収容の研修室を新築することとし、随時「建設だより」にて会員の皆様にお知らせを行った。

平成26年2月4日にトランスコスモス健康保険組合と売買契約を結び、本格的に新看護研修センターの建設を進める予定である。

【今後の課題】

看護協会が果たすべき役割とその機能を考え、将来に誇れる看護研修センター建設に向けて建設計画を推進していく。

また、建設計画の進捗状況については、「建設だより」を随時発行し、遅滞なく会員の皆様にお知らせする。

ナースセンター事業推進委員会

委員長 上田 陽子

【活動目標】

看護職員の就業促進と確保及び離職防止対策のため、県行政やハローワーク等との連携を密にし、再就業者の増加を図ると共に、看護職員の資質の向上を図る。

【活動内容】

○回数：委員会開催回数 5回

1. ナースセンター事業の活性化及び就業促進
 - 1) ハローワークに、ブースを設け相談窓口を開設
「ナースのお仕事相談」を毎月第2金曜日の13時30分～15時30分まで、ハローワーク和歌山の2階会議室に於いて、担当者2名で来所した未就業の看護職員、看護学生、看護に関心

のある方を対象に情報提供及び相談、支援をおこなった。

延べ9回開催し相談者13名であった。

2. ナースセンター事業に関わる研修会への協力参加
訪問看護推進事業(県受託研修)に1回、中堅看護職員実務研修(県受託研修)を延べ6回、協力参加した。
3. その他の関連事業について協力参加
「看護の心」普及啓発事業に延べ3回、協力参加した。

【今後の課題】

1. ナースセンター事業の普及及び啓発
2. 相談窓口の充実と拡大

日本看護学会学術集会準備委員会

委員長 鈴木 幸子

【活動目標】

第44回日本看護学会一成人看護I学術集会の企画・運営

【活動内容】

回数 6回(24年からの通算回数12回)

○抄録選考について

- 抄録選考委員は、学会準備委員10名の所属施設から選出した。学会準備委員で事前に抄録選考に関する学習会を行い、その内容を自施設の抄録選考委員に伝達し、抄録選考委員が自施設の学会準備委員と連携がとれ、抄録選考に関してスムーズに行うことができるようにした。
- 前倒して選考締め切り日を設定し、日本看護協会への選考結果提出日までに臨時会議を開催し、再検討する時間をもち、再度、抄録選考の結果を見直し、コメントの追加修正を行った。

○プログラム作成について

- プログラム作成をスムーズに行うために、抄録選考委員に事前に群分け一覧を渡し、抄録選考時に群分けについても併せて行った。
- #### ○協力員との連携
- 各会場の運営・進行にあたり、会場運営をスムーズに行うために、協力員の選出は学会準備委員10名の所属施設から選出し、各施設で会場を受け持つようにし、準備委員と協力員との連携がとれるようにした。

【今後の課題】

- #### ○特別講演を看護職以外の一般の方と看護学生に公開とした。
- 看護学生の反応が良く、今後も次世代育成のために看護学生の学会参加の機会を考慮する必要がある。

認定看護管理者教育運営委員会

委員長 角谷 知恵美

【活動目標】

認定看護管理者教育課程(セカンドレベル・ファーストレベル)実施や改善のための検討を行い、教育課程の充実と推進を図り、円滑な研修の運営を実施する

【活動内容】

回数:運営委員会 5回

ファーストレベル閉講式・閉講式、セカンドレベル閉講式・閉講式

- 平成25年度認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程の実施と評価
6月24日(開講式)から12月9日(閉講式)まで、7教科目150時間を実施し、科目履修生1人を含む46人が受講し、46人が修了した。研修終了後の講師毎のアンケート結果は好評で、受講者の自己評価も受講前後で上昇していた。

- 平成25年度認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程の実施と評価

9月12日(開講式)から12月13日(閉講式)まで5教科目180時間を実施し、17人が受講し、17人が修了した。研修終了後の講師毎のアンケート結果では、理解度、実践への活用、モチベーションなど評価はよかった。また、統合演習などを通して受講生同士で学びを深めることができていた

- 看護管理実践報告会の開催

和歌山県内の看護の質向上を目指し、セカンドレベル教育課程修了者のフォローアップとセカンドレベル教育課程未受講者の動機づけ、施設代表者のセカンドレベルこころい過程の理解と支援を得るために看護管理実践計画書の実践報告会を開催した。

【今後の課題】

- ファーストレベル教育課程・セカンドレベル教育課程の研修会の運営
- ファーストレベル教育課程修了者のフォロー研修の検討
- セカンドレベル教育課程の受講者の確保
- 看護管理実践報告会の運営

その他委員会報告

WLB推進委員会

推進者 古川 紀子

【事業目的】

地域を主体に看護職のWLBの実現に取り組み、看護職がいいききと働き続けられる環境づくりを行う

【活動内容】

回数:推進委員会 2回

参加施設への説明会 1回

参加施設・推進員合同会議 3回

平成25年度取り組み参加施設(6施設)

- 「WLB推進ワークショップ」において、参加施設の取り組みに対する助言・支援
- ワークショップの企画・運営

- ワークショップ開催(公開講座)

開催日:平成25年9月17日(火)・18日(水)

場 所:和歌山県看護研修センター

ファシリテーターとなり、参加施設のアクションプラン作成への助言・支援

- フォローアップ・ワークショップ開催(公開講座)

開催日:平成26年1月29日(水)

場 所:和歌山県看護研修センター

ファシリテーターとなり、参加施設の報告・討議に対し助言・支援

- アドバイザーとして参加施設訪問を実施

【今後の課題】

- 参加施設の拡大を図る

地区支部報告

伊都地区支部

支部長 小松 仁美

活動目標

- 地区支部活動をとおし、地域住民の看護協会への理解を深める。
- 研修会・広報活動をとおし、会員数の増加をはかる。
- 関係機関や関係職種との連携を強化し、地域住民の健康の保持増進に努める。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護週間行事 一日まちの保健室	平成25年 5月18日(土)	273名 14名	地域住民 役員及び 協力員	・健康チェック ・(血圧測定・骨密度測定・体脂肪測定) ・栄養相談	地域住民が入りやすい場所であったので、多くの方々に健康への関心を持ってもらう機会となった。栄養士の協力もあって、食生活の相談窓口にも多くの方が来られ好評であった。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
老人看護月間行事	平成 25 年 11 月 16 日（土）	82 名 4 名	地域住民 役員	・健康相談 ・健康チェック（血圧測定）	高齢者が多く参加するチャリティーバザーに健康相談として参加した。血圧測定を中心に実施したところ高血圧の方が多く、健康を維持するための生活指導ができてよかった。
ボランティア祭り	平成 26 年 2 月 22 日（土）	110 名 7 名	地域住民 役員	・健康相談 ・健康チェック（血圧測定・体脂肪測定） ・手洗い指導（手洗いチェッカー実施）	手洗いが感染予防の基本であることを理解してもらうために、手洗いチェッカーを用いて実施した。小児から高齢者まで幅広い層に関心をもってもらうことができてよかったが、手洗い場所が遠く石鹸が十分満たせなかったこともあり、効果判定がよくなかったことを反省する。
施設会員代表者会議	平成 26 年 3 月 5 日（水）	14 名	施設代表者 及び役員	県看護協会木村会長より ・日本看護協会の動向 ・平成 25 年度事業経過報告 ・平成 26 年度事業計画について ・新看護研修センターについて 平成 26 年度の地区支部の運営について検討	
研 修 会	平成 26 年 3 月 16 日（日）	94 名	会員及び 役員	合同研修会 （看護連盟・看護協会：那賀・伊都地区支部） テーマ：診療報酬改定について 講師：参議院議員 石田まさひろ先生	平成 26 年度診療報酬改定にともないタイムリーな研修会であることや講師への期待もあり、参加数は多かった。研修内容については、診療報酬改定の背景やプロセスをお話していただけたので、「わかりやすかった」と好評であった。
役 員 会	12 回		役 員	・理事会・支部長会報告 ・地区支部運営に関する検討	
今後の課題	①会員数が減少傾向にあるので、地域の訪問看護ステーションや施設の会員を増やせるように、参加しやすい事業にしていく。 ②地域住民を対象とする事業を計画し、活動をとおり地域住民の健康の保持増進に努める。				

那 賀 地 区 支 部

支部長 曾 和 とも子

活動目標

和歌山県看護協会からの情報・活動を支部会員に伝達、地区支部研修を充実し看護の質向上を目指す

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
一日まちの保健室	5 月 11 日（土）	164 名	地域住民	血圧・体脂肪・身長・骨密度測定 健康について相談を受ける	自分の健康度がわかり、良い企画をしてくれた。 住民の方からの喜びの意見が多かった。
支部集会・研修会	7 月 6 日（土）	68 名	地区支部 会 員	平成 24 年度事業報告・平成 25 年度 事業計画報告・感染について研修会 公立那賀病院 感染管理認定看護師 永崎 昌枝	感染の基礎を講義、現場で実際に活用できる。 わかりやすい講義との意見だった。
災 害 研 修 会	8 月 10 日（土）	68 名	地区支部 会 員	災害に向けて『災害トリアージ』について 公立那賀病院 日本 DMATO 隊員 三浦 由利子・二河 絵美 看護師	災害医療と救急医療の違いがわかり、いつ来るかわからない南海トラフ巨大地震に備えて対策、対応を考えておくことは喫緊の課題であると改めて考えさせられた。
老人看護月間	11 月 16 日（土）	46 名	地区支部 会 員	認知症看護～精神科領域の経験を踏まえて～ 講師：和歌山県こころの医療センター師長 小林 一太 先生	対象者の周辺症状に苦慮しながらも少しゆとりを持って接しご老人の“なじみの人”となれるように信頼関係を築いていきたい、ご老人の“今”を大切に安心して暮らすことができるようにケアを充実させていきたい
伊都・那賀地区 看護連盟合同研修	3 月 16 日	31 名	地区会員	診療報酬改定 衆議院 石田昌宏先生	
施設会員代表者会 公立那賀病院	3 月 19 日（水）	17 名	支部施設 代 表	県看護協会木村会長より 日本看護協会の動向 平成 25 年度事業経過報告 平成 26 年度事業計画について 新看護研修センターについて	
役 員 会	8 回	3 名	支部役員	理事会報告・研修、事業等の打ち合わせ 反省会	
今後の課題	看護協会の広報活動の情報を参考に新会員の増加に努める。支部を核に協会への協力を強化する				

和 歌 山 地 区 支 部

支部長 岡 室 優

活動目標

1. 地区支部活動を通して、地域住民の看護協会への理解を深める
2. 地区支部会員に対して、必要な情報を提供する
3. 地区支部会員に対して、看護実践の現場に行かせる研修会を実施する

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事 1日まちの保健室	平成 25 年 5 月 12 日（日）	108 名	地域住民	出前健康チェック・健康相談	労災病院の看護の日の行事と共同で開催した。そのため、参加人数が増えた
地 区 支 部 集 会	平成 25 年 6 月 8 日（土）	80 名	地区支部 会 員	地区支部活動計画・報告	研修と重ねることで参加者が増えた
研 修 会	平成 25 年 6 月 8 日（土）	80 名	地区支部 会 員	高齢者看護Ⅰ リレー講義	リレー講義により、凝縮した内容の研修を聞くことができた。会場が広く参加者数に比して少なく思えた

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
老人看護間行事	平成25年 9月14日(土)	122名	地域住民	出前健康チェック・健康相談	会場を大型スーパーにしたことで参加者が増えた。参加者が多く、良かったとの声も多く聞かれた
研修会	平成25年 10月19日(土)	20名	地区支部 会	高齢者看護Ⅱ 寝たきりにならないための予防	研修は分かりやすい内容であった。しかし、他の研修と重なり、広報も不足しており参加者が少なかった
地区支部役員会	10回		地区支部 役員	事業の打ち合わせ・反省会等	
地区支部施設代表者会	平成26年 3月26日(水)		地区支部 施設代表者	1. 日本看護協会の動向 2. 平成25年度の事業経過報告 3. 平成26年度事業計画等	
今後の課題	1. 支部集会は研修と重なることで参加人数を確保する 2. 研修会は興味をそそる内容で広報の仕方を検討する 3. 行事は開催場所や内容を検討する				

海南・海草地区支部

支部長 上 裕 佳 恵

活動目標

- 1 看護の質向上に努める
- 2 地区住民の生活習慣の予防・介護予防を推進する

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護の日事業	5月18日	146名	地域住民	一日まちの保健室 血圧測定、身長・体重測定、体脂肪測定 骨密度測定、健康相談、看護の日アピール	とれたて市場に買い物に来た方に健康チェックを行い、保健指導も併せ実施した。比較的健康な方が多かったが、血圧の値など日頃から測定している人もあり、健康に注意する人が増えてきていると感じた。骨密度測定は、人気があった。
第1回地区部研修会	6月29日	100名	会 員 (97) 非 会 員 (3)	講演 「女性外来について」 和歌山ろうさい病院 第2呼吸器内科部長 辰田 仁美先生	女性外来を開始したきっかけや、診療の内容など、また漢方薬を処方していることなどについて講演をしていただいた。
平成25年度地区支部集会	6月29日	97名	会 員	平成24年度活動報告・決算報告 平成25年度事業計画・予算案	役員の新旧交代を行った。
老人看護月間行事	10月20日	267名	地域住民	海南市健康まつり 脳老化度チェック (豆つかみ・かまひろい)	健康まつりでは、毎年のおし物になっており、楽しみに来てくれる人もあり、賑わった。
第2回地区支部研修会	12月21日	150名	会 員 (122) 非 会 員 (28)	講演 「在宅医療と看取り」 さくらクリニック 院長 西願 誠二 先生	在宅医療の現在の状況と看取りの状況について講演をしていただいた。ケアマネージャー等介護保険にかかわっている職種の参加もあった。
施設会員代表者 代表者会議	3月17日		施設代表者 および役員	県看護協会木村会長より報告・説明	
役員会	5回	7名	役 員	理事会・支部長会報告 地区支部運営に関する検討	
今後の課題	魅力的な研修会を企画し、会員・非会員に参加を呼びかけ、地域の看護の質を向上目指すとともに、会員数の増加をはかる				

有田地区支部

支部長 小 原 喜代子

活動目標

- ・看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への認知、理解を深める。
- ・広報活動により新会員の増加に努める。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	平成25年 5月18日(土)	30名 10名	一般住民 役員・協力員	健康チェック ・血圧測定・身長測定・体重測定・腹囲測定・ 体脂肪測定、保健指導、健康相談、介護相談、 看護の日グッズ配布	忙しいという理由で参加者が少なかった。来年度、場所と内容の検討を行う。
地区支部集会	平成25年 7月6日(土)	91名	会 員	平成24年度事業報告及び会計報告 会計監査報告 平成25年度事業計画(案)及び会計報告(案) 役員改選等	
第1回研修会	平成25年 7月6日(土)	91名	会 員 非 会 員	講演 「結核の知識と対応について」 講師：国立行政法人病院機構 副院長 駿田 直俊先生	急性期病院に肺炎等の病名で入院後に結核の診断がつく場合もある。その場合に接触者の検診等を含め対応に苦労している。そのような現状で、結核の基本を学ぶ有意義な研修だった。
老人月間行事	平成25年 11月3日(日)	80名 8名	一般住民 役員・協力員	健康チェック ・血圧測定、保健指導、健康相談、介護相談	広川町の健康祭りへの参加。 血圧の高い方や骨密度の低い方の相談が多かった。
第2回研修会	平成26年 2月15日(土)	70名	会 員	講演「緩和ケアについて」 講師：緩和ケア認定看護師 榎山 美佳先生	和歌山県はがんの死亡が多い中、緩和ケアは必要なケアと感じた。もう少し時間があれば、具体的な看護も学びたかった。等の意見があった。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
施設代表者会議	平成26年 2月25日(火)	8名	役員	県看護協会木村会長より報告・説明 ・日本看護協会の動向 ・県看護協会の平成26年度事業計画等 ・新看護研修センター建設推進	
役員会	4回	8名	役員	理事会・支部長報告 地区支部運営に関する検討	
今後の課題	地域住民対象の事業を通して、地域住民に看護協会の認知度を高める。魅力ある研修会を企画・実施し、会員増につなげる。				

日高地区支部

支部長 西岡 倫代

活動目標

地域住民の健康をサポートし、地域と密着した活動を行う

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護週間行事 「一日まちの保健室」	平成25年5月12日 10:00～15:00	104名	一般住民	・血圧測定・末梢血管循環測定 ・骨密度測定・体脂肪測定・健康相談	○ピブスに和歌山県看護協会と入れて活動時に着用して協会活動をPRするといのではという反省から理事会等で提案した。
老人看護月間行事	平成25年10月29日 13:00～16:30	125名	みはま学園 受講生 (老人大学)	・健康相談(血圧測定) ・講演会「結核のはなし」	○平日に実施した。老人大学の受講生というすでに対象が決まった集団を対象に実施することにより効果的に協会活動をPRできた。
地区支部研修会 第1回会員研修会	平成25年6月29日 13:30～15:30	54名	会員	講演「災害看護」 講師 石丸 昌美先生 (日本赤十字社和歌山医療センター)	○DVDで東日本大震災の災害時における初動体制確立の紹介もあり、平時からの準備の必要性を実感し、各職場でも考えていきたいという声が多く聞かれた。
地区支部研修会 第2回会員研修会	平成26年1月25日 13:30～15:00	52名	会員	講演「心のケア」 ～コミュニケーション能力を高めるために～ 講師 助教 森崎 雅好(高野山大学)	○人間関係、コミュニケーションについて身近な内容を取り上げたのでとても勉強になったと好評であった。
施設代表者会議	平成26年3月13日		地区支部 施設代表者	和歌山県看護協会 木村会長より報告・説明	
役員会	5回		役員	各行事の打ち合わせ及び反省会 理事会等報告	
今後の課題	日高地区支部の会員相互の連携強化を図り、看護の質の向上を目指すとともに会員増加に取り組む。				

田辺地区支部

支部長 林 弘子

活動目標

1. 会員相互の連携をはかり、地域における看護の質の向上を目指す。
2. 看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への理解を深める。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護の日 (1日まちの保健室)	平成25年5月18日(土) 9:00～12:00 JA紀南ファーマーズ マーケット紀采柑	79名 役員 (7名)	地域住民	『看護の日』のPRとともに 健康チェックを実施 血圧測定・体脂肪測定 健康相談等	今年度「出前健康チェック」ののぼりを作り会場にたてた。測定内容もわかり看護の日のPRにも効果があった。
地区支部報告会	平成25年6月1日(土) 12:45～13:15 社会保険紀南病院	64名 役員 (7名)	会員	・平成24年度地区支部事業報告 ・平成25年度地区支部事業計画 ・平成25年度役員紹介	
第1回研修会	平成25年6月1日(土) 13:15～16:15 社会保険紀南病院	80名	会 非 会 員	講演「緩和ケアについて」 講師 大阪市立総合医療センター がん専門看護師 北田 なみ紀先生	事例検討やグループワークを取り入れた研修で、「他施設の看護師と話し合う事で、他施設の考え方や方法もわかり良かった」「患者さんと関わっていくにあたり対応のヒントが多く自信になった」との意見があった。
老人看護月間行事	平成25年11月16日(土) 9:00～12:00 中辺路コミュニ ティセンター	41名 役員 (7名)	地域住民	健康チェックを実施 骨密度測定 血圧測定・体脂肪測定 健康相談等	・会場が健康に関する催しでまとめられており、栄養士、保健師 食生活改善促進会による啓発コーナーもあり、一人ひとりに時間をかけて指導できた。
第2回研修会	平成26年1月25日(土) 14:00～16:30 社会保険紀南病院	33名	会 非 会 員	内容「エンゼルケア(メイク) 講演・実技 講師 白浜はまゆう病院 藤若 由紀子先生	・「実践できたことで自信につながった具体的に実技があったので理解しやすかった」との意見が多く好評であった。
施設代表者会議	平成26年3月12日(水) 14:00～16:00 社会保険紀南病院	9名			
第3回研修会 (研究発表会)	平成26年3月15日(土) 13:30～16:00 社会保険紀南病院	74名	会 非 会 員	4施設7題の研究発表 講評・講演 南和歌山医療センター 急性・重症患者看護専門看護師 井上 潤先生	・4施設7題の研究発表をおこなった。他施設の研究発表から学ぶことも多かった講演は「看護倫理について」現場の事例をもとに説明して頂き、倫理について自分自身を振り返る機会になった。
その他役員会	平成25年 5月18日 7名 6月1日 7名 11月16日 7名 平成26年 1月25日 7名 3月15日 7名		役員	各行事の打ち合わせ及び反省 理事会報告等	
今後の課題	・魅力ある研修会を企画し、会員・非会員に参加を呼びかけ会員数を増やす。 ・支部活動を通じて更に会員相互の連携を深める				

活動目標 会員相互の連携を深め、情報交換を図り看護の質の向上に繋げる。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1日まちの保健室	5月18日	122名 11名	一般住民 協力員	血圧・体脂肪測定、健康相談等	血圧、体脂肪の値を記録用紙に記入し1人ひとりに渡すことで、質問されることが増え、健康相談に繋げることができた。
第1回研修会	8月10日	41名	会 員	講演「明日からの実践に役立つフットケア」 講師 新宮市立医療センター 日本糖尿病療養指導士 城台 咲子先生	フットケアの実践DVDを視聴してもらい、その後実際にフットケアを見てもらったことで参加者の満足度は高かった。
老人看護月間行事	11月3日	151名 9名	一般住民 協力員	血圧・体脂肪測定、健康相談等	太地町の「くじら祭」に参加。一人ひとりに血圧・体脂肪の値を記入した用紙を渡して、様々なアドバイスをを行った。
第2回研修会	11月15日	51名	会 員	講演「最近の脳梗塞の治療について」 講師 新宮市立医療センター 神経内科部長 石口 宏先生	「脳血管障害の最善の治療は発症予防」「発症した場合は時間との勝負」ということが理解でき、大変解りやすかった、と好評であった。
第3回研修会 (看護連盟との合同研修会)	3月1日	75名	会 員 看護連盟会員	講演「看護職のリラクゼーション」 講師 飛騨千光寺住職 大下 大圓先生	臨床スピリチュアルケアに関する関心が高く、多数の参加希望者があり、内容も瞑想を取り入れ、リラックスできる研修内容であった。
支部役員会	6月24日 7月4日 1月8日	4名	支部役員	・今年度の研修計画 ・各行事の打合せ ・研修・行事終了後の振り返り ・理事会報告等	
地区支部 施設会員代表者会	8月10日 2月24日	8名 15名	施設代表者 施設代表者	今年度の活動（研修・行事等）について検討 日本看護協会の動向・平成25年度事業経過報告・平成26年度事業計画について・看護研修センター建築について	
今後の課題	魅力ある研修会を企画し、積極的な参加を促し、参加者を増やす。施設間の連携を強化する。				

平成26年度 和歌山県看護協会役員・推薦委員選挙候補者一覧

役職名	氏名	所 属	備 考
会長	古川紀子	和歌山県看護協会	推薦委員会推薦
副会長	木谷 恵	和歌山労災病院	推薦委員会推薦
副会長	塩路有理	和歌山県立医科大学附属病院	推薦委員会推薦
専務理事	中林正良	自宅	推薦委員会推薦
常任理事	山本喜久子	自宅	推薦委員会推薦
理事（看護師職能委員長Ⅱ）	中野美枝	海南医療センター	推薦委員会推薦
准看護師理事	中西郁代	医療法人南労会 紀和病院	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 伊都地区	岩崎留美	医療人労会 紀和病院	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 那賀地区	大久保まさ子	医療法人三車会 貴志川リハビリテーション病院	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 海南・海草地区	宮井裕見子	海南保健所	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 有田地区	古川さゆ	有田市立病院	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 日高地区	東 るみ子	北出病院	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 田辺地区	下門すみえ	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター	推薦委員会推薦
監 事	灘井京子	訪問看護ステーション なだい	推薦委員会推薦
推薦委員	釜坂加寿恵	岩出保健所	推薦委員会推薦
//	由良早苗	湯浅保健所	推薦委員会推薦
//	橋爪見千代	有田市立病院	推薦委員会推薦
//	脇村睦代	紀南病院	推薦委員会推薦
//	西山由美	琴の浦リハビリテーションセンター 付属病院	推薦委員会推薦
//	松井亮雄	県立こころの医療センター	推薦委員会推薦

平成 27 年度 代議員推薦者名簿

	氏 名	職能・地区名	施 設 名
1	塩 路 有 理	助産師職能	和歌山県立医科大学附属病院
2	櫻 根 桂 子	保健師職能	自宅
3	中 西 郁 代	准看護師	南労会 紀和病院
4	西 山 登志子	伊都地区（看護師）	橋本市民病院
5	戸 石 未 央	和歌山地区（看護師）	日本赤十字社和歌山医療センター
6	古 川 さ ゆ	有田地区（看護師）	有田市立病院

平成 27 年度 予備代議員推薦者名簿

	氏 名	職能・地区名	施 設 名
1	小 谷 悦 子	助産師	日本赤十字社和歌山医療センター
2	斉 藤 典 代	保健師	県難病・子ども保健相談支援センター
3	播 島 京 子	准看護師	南労会 紀和病院
4	堀 江 佳代子	伊都地区（看護師）	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
5	澤 田 康 幸	和歌山地区（看護師）	済生会和歌山病院
6	向 井 仁 美	有田地区（看護師）	有田市立病院

新看護研修センター建設資金としてご寄付を頂きました。

東洋羽毛関西販売株式会社から 100 万円のご寄付を頂きました。
これまでにご寄付いただいた皆様

中 林 正 良 様	有 竹 由紀子 様
楠 本 好 子 様	温 忍 様
芝 佳 子 様	株式会社ライフパートナー 岩 橋 杉 子 様
灘 井 京 子 様	

皆様のご寄付のご協力をお待ち致しております。よろしくお願い致します。

ご協力下さいました皆様には心より感謝申し上げます。

日本看護協会会長から「第2回 カンゴサウルス賞」を授賞しました。

看護職がいきいきと働き続けられるためのWLB推進ワークショップ事業に、平成 23 年度から和歌山県看護協会とともに 4 施設が参加し 3 年間取り組んだ成果が称えられ、4 月 30 日青山ダイヤモンドホールにおいて、「第2回 カンゴサウルス賞」を紀和病院、恵友病院、国保日高総合病院、白浜はまゆう病院が授賞いたしました。県内施設の看護職員がいきいきと安心して働き続けられるよう、今後もWLB推進事業を継続しますので、取り組み施設をつのりますのでよろしくお願いいたします。



松本寿子 様を偲んで（元和歌山県看護協会会長）

前和歌山県看護協会 会長 谷 眞子

初代会長で名誉会員の松本寿子様が3月13日に102歳でご逝去されました。松本寿子様の功績については、「和歌山県看護協会史1」をご参照ください。私は、松本寿子様からご指導いただき大切にしてきたことについて述べてみたいと思います。

昭和50年代、現看護研修センターに関する臨時総会の議長を依頼され、断ったところ「これからの看護界に関する事を若いからと云うのはいかがか」と厳しく叱咤されました。「研修センターを利用し恩恵をこうむるのは、若い看護職ではないか。だから若者が中心にならないとだめだ」と云うことでした。当然のことで、議長をしたくないと言ったことを恥ずかしく思い、清水の舞台から飛び降りる思いで引き受けました。当時の総会は、質問・意見・やじが多く騒然とした中での進行ですので

覚悟がいりました。常に若者が中心になる事が会の発展のために重要であると言われました。また、看護職が真の専門職として社会に認識されるために自律と自立の精神が必要で、依存的になることなく、自ら主体的に行動しないと自分達の問題は解決しないといわれ、私が長い間看護制度委員として活動してきたこともここにあります。また、独自の看護研修センターを持つ事も自立の証であり、誇りであると考えられていました。将来を展望し強い信念とリーダーシップのお陰で、現在の看護協会の基礎を築いていただいたことを再認識し、会員の皆さまと共に新しい看護研修センターへと発展させていくことをお誓いし、ご冥福をお祈り申し上げます。

公益社団法人和歌山県看護協会 会長 木村 佐多子

和歌山県看護協会初代会長（日本看護協会名誉会員並びに和歌山県看護協会名誉会員）松本寿子様が、今年3月13日、102歳でご逝去されました。

松本会長は、昭和48年の社団法人和歌山県看護協会の創設以来14年もの長きに渡り、初代看護協会会長として看護協会の基盤強化・発展に多大なる貢献を頂きました。

松本会長（日本看護協会名誉会員並びに和歌山県看護協会名誉会員）の業績は数え上げればきりがありませんが、中でも、会館建設については、昭和48年の土地購入から昭和60年、会館建設竣工迄、「完成に至るまでの道のりは長い長い苦し

いものであった」と協会史に記されているように、筆舌に尽くしがたい数々のご苦労にただただ頭の下がる思いです。また、准看護師問題にも精力的に取り組んで下さる等、看護職の自立と地位の向上、それを支える教育体制の整備と和歌山県看護協会の未来を切り開いて来て下さいました。

初代会長として、ゆるぎない信念のもと、持ち前の情熱、バイタリティー、人間力で組織を纏め、職能団体としての基盤強化、組織力強化に努めて下さいました。改めまして、松本名誉会長の数々のご業績とお人柄を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



心地よい眠りで、あなたの元気を応援します。

東洋羽毛のゴア® 羽毛ふとん

汚れのもとになるものは、ふとんの中に入りません。

寝ているときの汗は、こもりません。

まるでふとんが、呼吸をするように

いつも衛生的で、心地よい温かさを保ちます。

温かいを超えた、至福の寝心地を、

是非お試しください。




東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所
〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
TEL 0120-32-7766
ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>

 清潔・きれい・衛生
Bedding Products

東洋羽毛様 100万円のご寄付 ありがとうございます。